

「食育月間」以外の取組実績  
(食育月間を除く4月～12月の実績)

<b>事例タイトル</b> 食育標語づくり・お弁当コンテスト	<b>実施主体：</b> 岩手県立花泉高等学校 <b>連携機関：</b> 特になし
<b>目的</b>	望ましい食習慣の形成と定着を図るとともに、食べ物を大切にし、食に関わる人々への感謝と思いやりの心を醸成する。
<b>対象者</b>	2年生(家庭科を履修する生徒全員)
<b>場所</b>	岩手県立花泉高等学校 (文化祭において展示発表)
<b>活動内容</b>	<p>「食育標語づくり」          県民くらしの安全課が募集している「食育標語」に取り組み、その作品を展示発表した。テーマは「いわてを食べよう」だったが、宮城県から通学している生徒も多くいるため、内容は一関・宮城県北地域の特産物や郷土食を織り込んだ地元に対する愛情が伝わる作品が多数あった。文化祭では一般来場者に投票していただき、生徒達の大きな励みとなった。</p> <p>「お弁当コンテスト」          今年で2回目を迎えた今回のテーマは「ありがとう弁当」とした。5月と10月に手作り弁当の作成レポートに取り組み、健康的な食生活についての理解を深めた。また、このレポートを文化祭で展示し一般来場者の方に評価していただいたり、授業の中で相互評価をしたりし、個々と集団の考えを深めた。お弁当という身近な題材を用いたことで、生涯にわたって健全な食生活を営むことの重要性や、調理の基礎的知識・技術の必要性を実感することができたと考える。</p>
<b>成果</b>	食育標語を通じて地域の産物や食文化の理解を深め、食に関わる人々への感謝と思いやりの心が養われた。また、お弁当作りを通して家族との交流が深まり、食を通じたコミュニケーションの育成に役立った。
<b>課題及び今後の展望</b>	意識変容だけでなく、行動変容を見取ることが大きな課題である。本校では後期に外部講師を招いての食育講座や、地域の食生活推進委員の方を招いての郷土食の調理実習を行っている。今後もこの事業を継続し、豊かな食文化を伝承し、健康的な食生活を営む人材の育成に力を入れたい。